

営農ウィークリーNEWS

水稻採種圃場の一次検査を実施



異型株は株ごと除去



検査の様子



カメムシ類の発生を確認

カメムシ類の発生は、中晩生においては平年並との予察情報ですが、しっかりと防除を行ってください。



9月10日(金)向島支店管内の水稻採種圃場にて、出穂期の一次検査を実施しました。

一次検査では、まず畦際から圃場全体を確認し、隣接圃場の作付け品種や雑草の発生状況などを確認します。

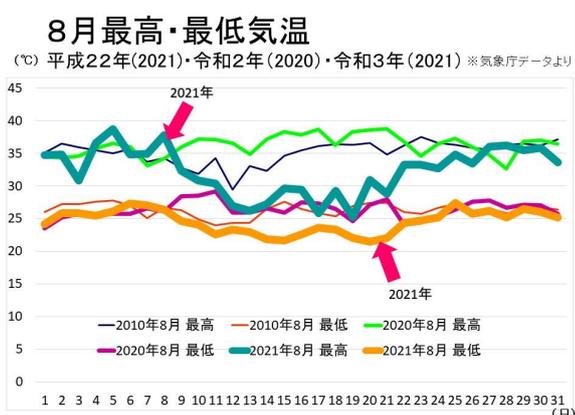
次に圃場に立ち入って、草丈・稈長の違いがあるかを確認します。ここで、異型は株ごと除去します。

最後に、病虫害や雑草が発生を確認し、防除や抜き取りを行ってもらうよう生産者に伝えます。

今回の検査では、一部いもち病の発生が見られましたが、そのほか生育は順調でした。

次回の糊熟期・成熟期に実施する二次検査で合格すると、ようやく刈り取りを迎えることとなります。

—TAC information— 2021年産米早生品種の品質

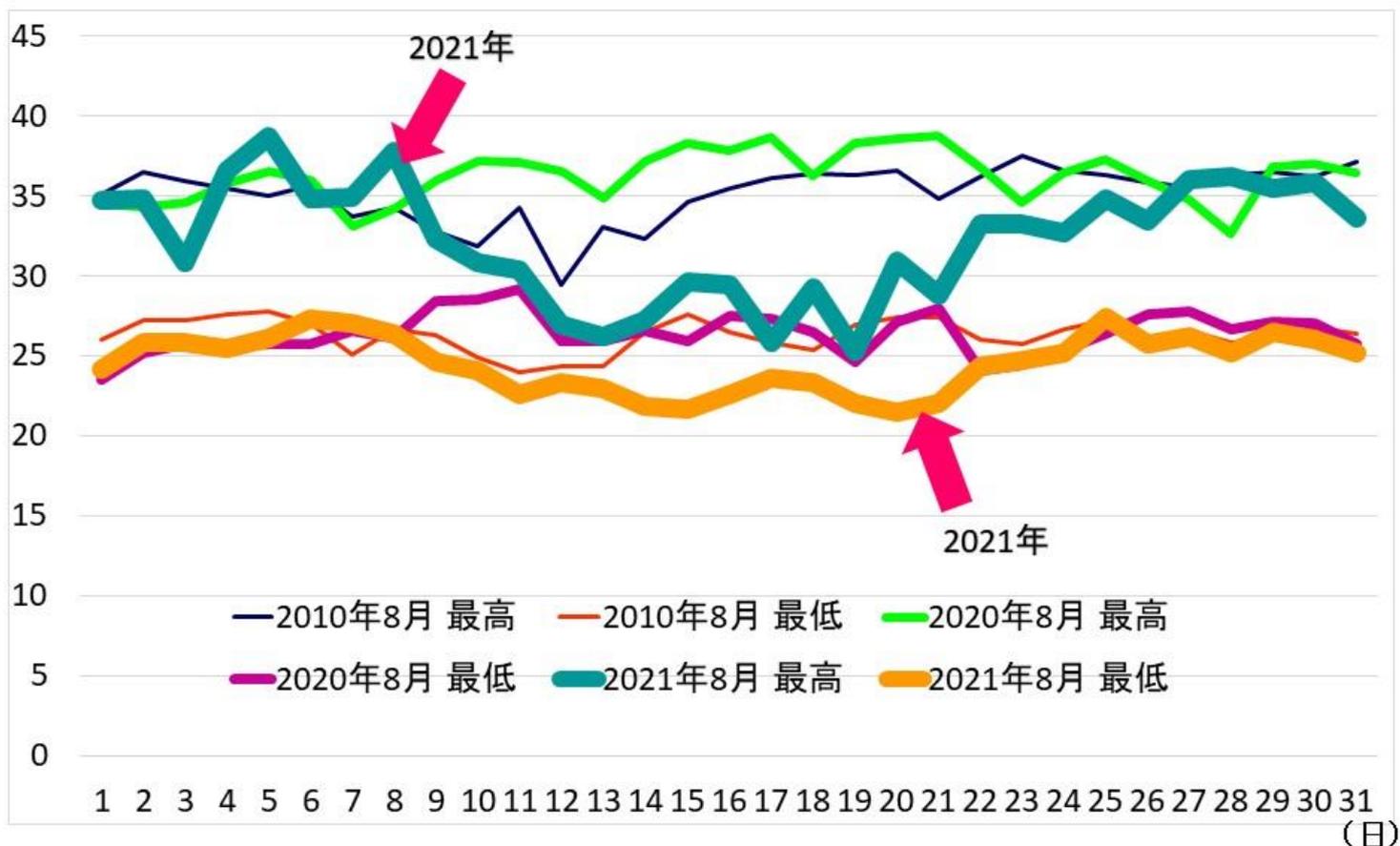


(裏面に、大きく掲載しています)

写真は、今年のコシヒカリ(玄米)です。
昨年と比較して気温は低く推移しており高温の影響は少ない感じがしますが、若干刈取時期が早かったため、青未熟粒が目立ちます。
今年は、積算温度の関係から刈取時期においては、見極めが必要です。これは、中晩生品種にも言えることです。
収穫期については、1穂の85～90%程度が黄変したした頃ですので、圃場をしっかりと確認してください。

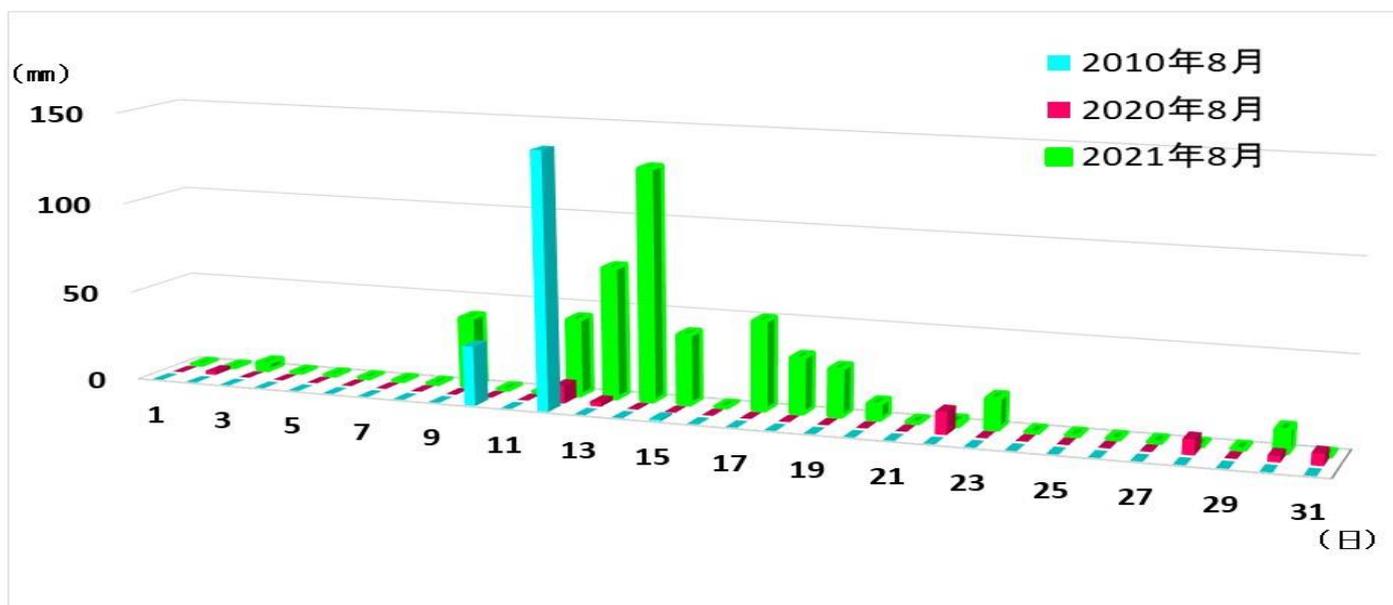
8月最高・最低気温

(°C) 平成22年(2021)・令和2年(2020)・令和3年(2021) ※気象庁データより



8月降水量

平成22年(2010)・令和2年(2020)・令和3年(2021) 単位:mm



収穫期については、1穂の85~90%程度が黄変したところです。収穫期をしっかりと見極め、刈取を行ってください！

